

# しろい子どもプラン（第3期白井市子ども・子育て支援事業計画）

## アンケート調査の方向性について

### （1）ニーズ調査（令和5年度：アンケート調査）の目的

令和7～11年度の5年間の期間とする「しろい子どもプラン(第3期白井市子ども・子育て支援事業計画)」の策定にあたり、市の教育・保育サービス等の利用状況や今後の利用希望、子どもと子育て家庭を取り巻く状況、子ども本人や養護者のニーズなどを把握するため実施するものです。

### （2）アンケートの対象・発送数・調査方法

- ①住民基本台帳の中から小学校就学前(0～5歳)の子ども1,600名を無作為抽出、その保護者を対象に無記名アンケートを実施。
- ②市内小学校5年生及び市内中学校2年生の保護者を対象に無記名アンケートを実施。
- ③市内小学校5年生及び市内中学校2年生本人を対象に無記名アンケートを実施。
- ②と③は調査票に世帯コード(ID)を印字し、保護者と子どもの回答を紐づけて集計分析。

	対象者	発送数	調査方法	
①	就学前児童(0～5歳)の保護者	1,600人	住民基本台帳より無作為抽出 郵送配付・回収／無記名	
②	市内小学校5年生の保護者	約 600人	悉皆調査 学校配付・郵送回収／無記名	連携
	市内小学校5年生本人	約 600人	悉皆調査 学校配付・回収／無記名	
③	市内中学校2年生の保護者	約 600人	悉皆調査 学校配付・郵送回収／無記名	連携
	市内中学校2年生本人	約 600人	悉皆調査 学校配付・回収／無記名	

### （3）調査予定期間

令和5年11月24日(金)から12月8日(金)までを予定

#### (4) アンケート内容の基本的な考え方

- 前回調査との経年変化をみることも考えられるため、原則として前回調査(平成 31 年1月 18 日～1月 31 日に実施)と大きな設問・構成の変更は行わない(教育・保育の見込み量の把握、子育て全般のニーズ把握、保護者の孤立化の把握、保護者や子ども自身の生活状況、求められる子どもの居場所など)
- 教育・保育のニーズをできる限り正確に把握するための設問を追加する。
- 前回とサービス内容や名称等が変更されているものは修正する。
- 国の全体的な動向や市の課題として、必要に応じて設問の追加を検討するが、現状でも設問数が多いため、回答者の負担軽減のため追加の場合は精査して行う。

#### (5) アンケート内容の主な変更点など

##### 《①就学前児童の保護者》

- ◎【問11・12】保護者の就労状況について、曜日による保育の見込み量を把握するために、就労実態の把握を、平日、土曜日、日曜日、祝日ごとに家を出る時間と帰宅時間を聞く形で行う。
- ◎【問16】土曜・休日、長期休暇中の教育・保育利用希望は、前回病児保育等の後ろにあったが、内容的な流れを考慮し、平日の利用に関する設問の後ろに移動。
- ◎【問21-2】病児・病後児保育の利用について、前回調査では「利用しなかったか」の過去形だったが、「利用したいと思うか」の利用希望に重点をおいたものとする。
- ◎【問31】日曜日・祝日の学童保育所の利用ニーズを把握するための設問を追加。

##### 《②③小学5年生及び中学2年生の保護者》

- ◎今回の試みとして小中学生保護者は WEB アンケートフォームでの回答もできるようにするため、1 頁目に「インターネットでアンケートに答えることもできます」を記載。
- ◎【問9】学童保育所のニーズ把握の設問は、前回、利用状況＋利用の有無に関わらずの希望、という形で聞いていたが、施設整備は充足しており、利用状況は他に把握できることから、利用していない人への希望に絞った設問とする。

##### 《②③小学5年生及び中学2年生本人》

- ◎前回、東京都等の調査を参考にむし歯の本数をきいていたが、「わからない」が前回40%となっていたことや本調査で敢えてきく必要性が低いいため削除。
- ◎【問10】子どもの普段の生活状況や過ごし等の把握のひとつとして、子ども自身による家族の世話の状況の設問を追加。

◎【問25】前回、項目は地域活動に特化していたが、子ども自身が成長しようとする「子育て」には、子どもの時の様々な体験が重要となることから、地域活動以外の体験も含めた。「家族といっしょの旅」「遊園地、テーマパーク、動物園などに行く」「山、海、キャンプなどに行く」「博物館、美術館、科学館などに行く」の項目を追加している。